

フォーミュラ・ニッポン第8戦 RACE Report 2009/09/26 スポーツランド菅生
公式予選

●ロイックが今季3回目のポールポジション獲得、小暮も2番手で1-2獲得。

フォーミュラ・ニッポン第8戦 SUGO ラウンドの公式予選が14:30よりスタート。天候は晴れ、湿度は低いが、日差しは強く感じる。Q1開始の気温と路面温度は25.0℃/41.8℃で午前中と比べると気温、路面とも上昇した。今回もドライコンディションでの予選アタックがこれから始まる。ロイックも小暮も午前中のユースドタイヤでコースイン、その後ロイックはニュータイヤでアタック開始、Q1をロイックがR1'06"806のトップタイムをマーク、小暮はユースドタイヤでアタックし、1'07"063の僅差の2番手でクリアした。向かえたQ2では二人ともニュータイヤでアタック、今度は小暮がR1'06"332でSUGOのコースレコードタイムでトップに立ち、ロイックもR1'06"574の2番手タイムでクリア、最後のQ3に共に進出を決めた。そして最後のQ3がスタート、残り5分を切ったところでロイックがQ3のアタックに入る。小暮もロイックに続きコースイン、最後のアタックラップに入った。そして、ロイックがQ2タイムを僅か更新し、R1'06"540のベストタイムを叩き出しポールポジションを獲得。小暮のラストアタックはR1'06"635でロイックに僅かに届かずの2番手。最終戦も二人とも好調をキープしてNAKAJIMA RACINGの1-2で予選セッションが終了した。

●チームディレクター:藤井一三

「なんとか1-2で終わることが出来ました。本来なら、最後のQ3で小暮がもう少しいいタイムを出し、ポールが取れたかもしれませんが、少しのミスがあったようです。明日のレースもどちらかが勝つにしろ1-2で終わることができればいいと思います。」

●31号車ドライバー:ロイック・デュバル タイム:R1'06"540(ポールポジション)

「最終戦でポールが取れてとてもハッピーです。明日はプレッシャーもないので優勝で終われたら最高です。」

●32号車ドライバー:小暮卓史 タイム:R1'06"635(2番手)

「Q2まではすごく順調でしたが、最後のQ3で旨くまとめることが出来ずポールを取ることが出来ませんでした。とても悔しいですが、明日のレースは優勝めざして頑張ります。」

※"R"マークは、コースレコードを更新。従来のコースレコードは1'06"918

PIAA

EPSON

ZOJIRUSHI

ZURICH

HONDA

S&S F

Formula
NIPPON
RACING

BRIDGESTONE

NGK
SPARK PLUGS

EBS

GRS

PERFORMANCE
FRICITION
BRAKES

WPC

Aral